

Injury Alert (傷害速報)類似事例

傷害速報 No.28 電気ケトルによる熱傷の類似事例 3

事 例	年齢：1 歳 0 か月 性別：女 体重：9kg 身長：70 cm
傷害の種類	熱傷
原因対象物	電気ケトル
臨床診断名	第Ⅱ度熱傷 (熱傷面積 20%)
発生状況	発生年月日・時刻
	発生時の詳しい様子と経緯
治療経過と予後	

2013年10月11日 午後7時頃

母親は児とともにリビングにおり机を拭いていたが、気付かないうちに児がひとりで台所に移動し、台所に設置していた炊飯器などを置く棚(50cmほどの高さ)に載せてあった電気ケトルに手を伸ばしてひっくり返した模様。受傷時母親はリビングにいた。父親は偶然台所にいたが棚に背を向けるようにして立っていたため、児が泣き出すまで気付かなかったとのこと。

電気ケトルは日常的に棚に設置されており、電気コードは棚の奥から電源に接続される構造であったが、電気ケトルの取手は手前に向いていたため、すぐに手をかけることができる状態であった。また電気ケトルの蓋は、電気ケトルが転倒するとすぐにお湯がこぼれる構造になっていた。受傷後すぐ母親が自宅で患児の服を脱がせ、自力で救急受診した。

来院後すぐに初期診療が開始された。

受傷部位は左上肢から左前胸部全体、および左背部中ほどにかけてであり、第Ⅱ度熱傷が体表面積の約20%を占めていた。重症熱傷として全身管理目的でPICU入室となった。

PICUには合計2日間入室したが、その後呼吸および循環の状態は安定していたため一般病棟転棟となった。